

「いじめ」を生まない学校・学級づくり～いじめ〇を目指して～ 『いじめ撲滅宣言』

みなさん、先日のいじめについてのアンケートへのご協力ありがとうございました。集計した結果、いじめはいけないこと、やってはいけないことという意見が大半でした。しかし、いじめはなくなると思うかという質問に関しては意見が半分に割れました。その理由は、大半の人がいじめはダメと思っているのにいじめがなくならないのは、自分にはそんなつもりではなくても相手が嫌な思いをすれば、それはいじめになってしまうからだということでした。私は考えました。強盗をするかというと、私たちは絶対に犯さないと思います。絶対的に悪いことだと思っているからです。人に思いやりを持たなかつたり、人が嫌がることをすることは、絶対にしてはいけないことだと自覚したらなくなると考えました。第一にいじめは人権侵害であり、人として決して許される行為ではありません。第二にいじめは大人の気づきにくいところで行われることが多く発見しにくいですが、一番身近にいる私たちが必ず気づきやすいです。いじめを見て、見ぬふりをすることは絶対的に悪いことです。第三にいじめはいじめられる側にも問題があるという見方はまちがっています。いじめることが絶対悪いと認めることが大切です。いじめがなくなるないと考えるのは、意志の弱さではないかと思いました。そこで、みんなで決意したいと思います。私たちが今からやることは相手が嫌な思いをすることや不快に思うことは絶対にしたり、言ったりせず、思いやりの心を持つということから始めていくことです。

それを持たないことは人として絶対に悪いことだと日頃から自覚し続け大事にしていくことです。そして、いじめをなくすためのスローガンが決まりました。それは、『思いやりの心をもって、やらない、やらせない、ほっとかない！』です。このスローガンによって、阿倍野中学校の全生徒が共通の意識をもって、これからもいじめをしない、させない「いじめゼロ」の学校にして、みんなが安心して登校できるように心がけることをここに宣言します。

2018年1月15日 阿倍野中学校 生徒会長